



06

■ スタイルテーマ、提案のポイント

夏から秋にかけて提案したいパーマスタイル。先の潤いを考えながらも、柔らかなニュアンスのスタイルでカジュアルなイメージに。上質さの中にも具体的に若々しい印象に仕上がっています。

カット

毛先のバサつきを抑えるために、ベースにはあまり重みを入れず、オーバーセクションにのみレイヤーを入れて軽やかな印象に仕上げる。

パーマ

15～20mmロッドで毛先を逃がしすぎないように根元までしっかり巻き込み、ひし形でスライスを取り、大きくハリのあるリッジを作る。

カラー

初めにハイブリーチのハイライトを髪の落ちる位置を考えながら間隔を置いてオン。その上からツヤを出すために7レベルのアッシュ系を全体にワンメイプで立体感とツヤ感を一緒に演出。

スタイリング

ニュアンスを出したいトップを中心に、ドライに仕上げた後、ハード系ワックスで空気を一緒に吹き込むように髪を動かしてスプレーする。空気感のある動きを作る。



07

■ スタイルテーマ、提案のポイント

ミディアムの場合はサイドとえり足のアウトラインの長さが若々しく見せるための決め手になります。すべてつなげて細かい毛流れが出るようにカットし、髪にツヤを出すことが上質に魅せるコツです。

カット

バックはグラデーションでカットし、その上にレイヤーをかぶせたスタイル。アンダーセクションを動かさず、オーバーセクションを動かすのが狙い。

パーマ

なし

カラー

9レベルのマット系ブラウンでトーンアップ。その上さらにマット系を重ねて6レベルまで下げる。マッシュにマット系を入れることで、髪の赤みを消すことができる。

スタイリング

束感よりも面の美しさやツヤを出すため、軽くプロブロー。特にスタイリング剤を使わず、ブローのみによって髪質感を引き出す。

07

指通りなめらかなさらさらの髪を生かす
フェミニンでシックな上質ヘア

Base

Hair : Shunsuke Orihara
Make : Maiko Suzuki

ARRANGE PROCESS



01 カーラーを全体に巻いて軽くドライヤーを当て、髪の毛の温度が完全に下がってからはずす。ここでしっかり形を作ることがポイント。



02 手ぐしでなじませてシルエットをバランスよく整える。

Arrange





■スタイルテーマ、提案のポイント

ストレートの前髪にすることで、若々しさとかわいしさを演出。クセを生かした柔らかな質感のナチュラルヘアがポイントです。

カット

肩下10°のレイヤーベース。前髪を深いポイントで切り、目尻の位置まで縁取るようにカットし長さを調整。レイヤーはポイントが多くならない程度に低めの位置に設定していく。

パーマ

なし

カラー

7レベルのカッパー系で全体にワンメイクする。大の雰囲気を出すために低めのトーンに設定。カッパー系で上品さを演出。

スタイリング

ドライワックスを毛先に少量付け指先で毛先からくるとねじるようにしながらドライ。そうすることで巻き風の質感を作る。

12



■スタイルテーマ、提案のポイント

日本人はハチが張っていて後頭部がへこんでいる人が多く、さらに加齢によってボリュームがなくなると傷みやすくなりがちです。これらを改善する骨格矯正するカットとツヤ・ハリを出すことが大事です。

カット

トップのボリュームが出るよう短くカットし、そこからレイヤーでつなげ、毛先を動かせるよう軽くする。そうすると髪がつぶれにくくなる。

パーマ

なし

カラー

まず10レベルのナチュラルでトーンアップさせ、そこからマット系カラーで7レベルまでトーンダウン。色と栄養を髪の中に閉じ込めながら明るさを抑えるのがポイント。

スタイリング

前髪はノーマルワックスで顔が隠れないように軽くキープし、サイドに流す。それ以外は何もつけずにナチュラルな動きを出す。

13

13

そよ風になびくようなエレガントフォルムで
表情をやさしく見せる



Base

14

ふんわりと輪郭を包む
落ち着いた清潔感のある
すっきりヘア



Base